

～耕作放棄地を出さないふるさとを目指して～

【類 型】 水稻(飼料米) + WCS

【組 織 名】 農事組合法人トピアとかの
(令和元年10月設立)

【所 在】 高知県高岡郡佐川町

【農業地域類型】 中山間農業地域

【構成戸数・人数】 19戸・19人

【経営規模(令和5年度実績)】

飼料米 10.8ha

WCS 5.8ha

作業受委託

〔 田植え 2.8ha ・ 稲刈り 6.9ha 〕



トピアとかの設立総会

設立の経緯

- 平成17年に斗賀野地区の住民有志が農業振興、子育て・教育支援、歴史と伝統文化の継承、自然・生活環境の保全、住民交流の促進、地域福祉の向上などを目的にNPO法人「とかの元気村」を設立し、事業展開。
- 平成30年から多面的機能支払交付金制度で斗賀野地区農村環境を守る会、中山間地域等直接支払交付金制度で斗賀野地区集落協定の組織を立ち上げ、農地保全・維持活動を実施。
- 令和元年、「耕作放棄地を出さない」をスローガンに、農事組合法人「トピアとかの」を設立し、休耕田に飼料米・WCSを耕作、JAからの受委託事業継承及びライスセンターの委託運営を開始。

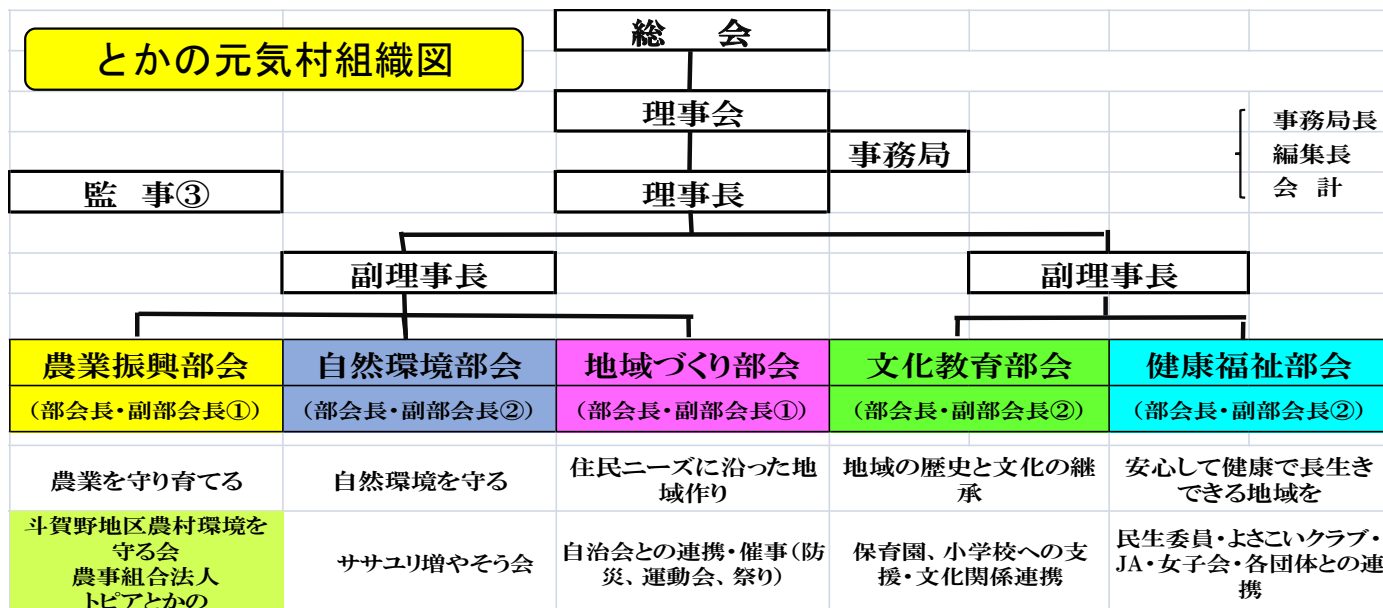
取組の特徴・効果

農村型地域運営組織(農村RMO)

- 元気村、守る会・集落協定、トピアの事務局を一元的に集落活動センターで管理し、農業を含めた地域づくりの実践を行っている。
- 地域の子どもたちに農業体験や自然環境を学ぶ取り組みを実施している。
- 次世代の担い手となる若者を呼び込むイベントを開催し、交流人口を増やす取り組みを行っている。
- 地域の困りごとを解決するため、ボランティアによる清掃等のお助け隊活動を実施し、活動の輪を広げている。

【具体的な取組内容】

※画像・表・体制図などの補足資料



「トピアとかの」全体会



飼料用米研修
(愛媛県大洲市)



5県集落営農法人サミットで
活動発表 (島根県益田市)

【主な機械・施設】

※名称・規模

機械・施設	台数	施設・機械	台数
トラクター	2台	田植機	2台
コンバイン	2台	ミニライスセンター	1式(受託)
ハロー	2台	ビニールハウス	1棟
畦塗機	1台	農機具倉庫	1棟

【課題・今後の取組】

- 水田の集合化が進まない
- 水稻の水管理、畦畔等の雑草対策、深い田や排水の改善等
- 組織の体系化と責任分担の明確化
- ドローンや高性能機器の導入によるスマート農業への取組み
- 5年後に飼料米20ha、WCS10haを目指す